意思決定プロセス分析のフレームワーク

・目的：危機感、焦燥感からくるあるべき姿

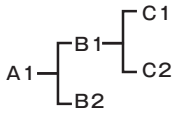
・目標：あるべき姿の数値による具体化

❶単純な決定の場合

A案（　　）
↓
B案（中間：　　）
↑
C案（　　）

❷目標が明確な場合

重要な決定要因A（　）
重要な決定要因B（　）
重要な決定要因C（　）



❸目標が不明確な場合

強み要素（　　）
弱み要素（　　）
機会要素（　　）
脅威要素（　　）

	S	W
O		
T		

残された選択肢群（　　）（　　）（　　）

リスク項目の確認

影響度			
大	発生時対策	予防＋発生時対策
小	問題なし	適宜判断
	小	大
	頻度	

	成長度				自社適応度			結果
	成果	投資	リスク	スピード	文化	トップ	責任者	
選択肢１								
選択肢２								
選択肢３								